

第 131 回

令和8年1月～3月期

中空知管内景況レポート

令和8年4月発刊

特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」



ふれあいを大切にする

北門信用金庫

第131回 北門しんきん 中空知管内中小企業景気動向調査

北門信金では、中空知管内の中小企業の景気動向を把握するため、滝川・砂川・芦別・赤平・歌志内・奈井江・上砂川・浦臼・新十津川の各市町に所在する企業のご協力をいただき、地域企業景気動向調査を実施しております。

この調査は、毎年四半期ごとに実施しておりますが、今回は令和8年1月～3月期の業況実績と令和8年4月～6月期の業況見通しについて調査した結果をとりまとめたものです。

なお、今回は特別調査「中小企業経営者のライフデザイン」を実施しております。

令和8年4月

北門信用金庫 総務部(広報)

滝川市栄町3丁目3番4号

TEL (0125)22-1185(直通)

調査要領

1. 調査時点 令和8年3月
2. 調査対象期間 令和8年 1月 ～ 3月実績
令和8年 4月 ～ 6月見通し
3. 調査企業 当金庫のお取引先企業

製造業	18社	建設業	38社
卸売業	7社	運輸業	9社
小売業	26社	不動産業	3社
サービス業	16社	計	117社

4. 調査方法 当金庫職員による面接聞き取り法
5. 分析方法 DI判断指数を中心に分析

DI=Diffusion Index

DI判断指数

各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業数の全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業数の構成比との差

※「%」表示は、小数第二位を四捨五入しております。

中空知の景気動向 (令和8年1~3月期)

調査企業 117社
回答企業 116社
回答率 99.1%

業況は悪化、4~6月期は横這いを予想

今期の実績 (令和8年1~3月期)

業況判断DIは▲24となり前期比20ポイント悪化、前年同期比は1ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲33となり前期比43ポイント悪化、収益判断DIが▲30となり前期比36ポイント悪化しました。
また、販売価格判断DIは12となり前期比7ポイント低下、仕入価格判断DIが34となり前期比13ポイント低下となりました。
業種別では、6業種が悪化、製造業のみ小幅な改善となりました。

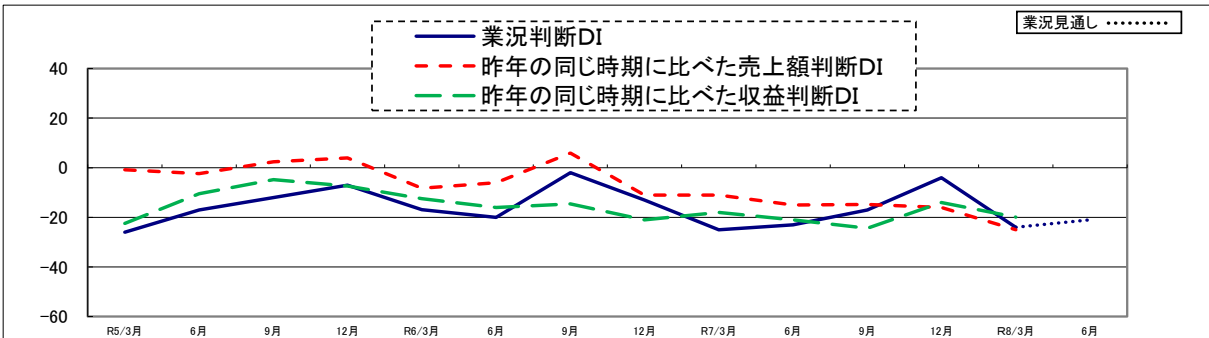
来期の見通し(令和8年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲21となり今期実績比3ポイント改善する見通しです。
売上額判断見通しDIは2となり今期実績比35ポイント改善、収益判断見通しDIが▲7となり今期実績比23ポイント改善する予想です。
また、販売価格判断見通しDIは26となり今期実績比14ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIが44となり今期実績比10ポイント上昇する予想です。
業種別では、卸売業・小売業は改善、製造業・建設業・運輸業が低下する見込みです。

DI値

	R7/1~3月	R7/4~6月	R7/7~9月	R7/10~12月	R8/1~3月		R8/4~6月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲25	▲23	▲17	▲4	▲24	▲20	1	▲21	3
売上額	▲26	▲9	12	10	▲33	▲43	▲7	2	35
収益	▲29	▲14	3	6	▲30	▲36	▲1	▲7	23
販売価格	22	25	22	19	12	▲7	▲10	26	14
仕入価格	61	48	49	47	34	▲13	▲27	44	10
在庫	9	▲2	1	2	0	▲2	▲9	0	0
資金繰り	▲5	▲8	▲5	▲10	▲4	6	1	▲11	▲7
残業時間	▲14	▲12	▲6	▲3	▲7	▲4	7	▲3	4
人手	▲37	▲43	▲48	▲49	▲31	18	6	▲45	▲14
現在設備	▲10	▲12	▲12	▲14	▲12	2	▲2	▲13	▲1

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答(不動産業除く)

設備投資実績内訳(8年1~3月)

事業用土地・建物	2件
機械設備の新・増設	6件
機械・設備の更改	9件
事務機器	9件
車両	10件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4~6月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	4件
機械・設備の更改	8件
事務機器	6件
車両	11件
その他	5件

今期(8年1~3月)は、25社(21.6%)が設備投資を実施しており前年同期を1社上回りました。
来期(8年4~6月)に設備投資を計画している企業は28社(24.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	58社
2位	売上の停滞・減少	40社
3位	人件費増加、原材料価格上昇	各31社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	62社
2位	経費を節減する	61社
3位	販路を広げる	29社

製造業

(令和8年1～3月期)

調査企業 18社
回答企業 18社
回答率 100%

業況は小幅に改善、4～6月期は小幅な低下を予想

今期の実績 (令和8年1～3月期)

業況判断DIは0となり前期比6ポイント改善、前年同期比22ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲22となり前期比16ポイント悪化、収益判断DIが▲33となり前期比27ポイント悪化しました。
また、販売価格判断DIは17となり前期比5ポイント低下、原材料価格判断DIが50となり前期比6ポイント低下しました。

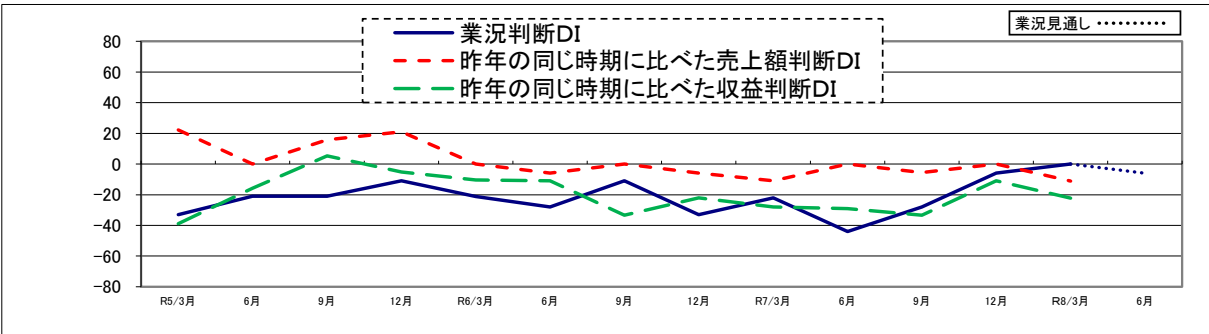
来期の見通し(令和8年4～6月期)

業況判断の見通しDIは▲6となり今期実績比6ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは17となり今期実績比39ポイント改善、収益判断見通しDIが▲11となり今期実績比22ポイント改善となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは33となり今期実績比16ポイント上昇、原材料価格判断見通しDIが44となり今期実績比6ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月	R7/10～12月	R8/1～3月		R8/4～6月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲22	▲44	▲28	▲6	0	6	22	▲6	▲6
売上額	▲22	0	▲6	▲6	▲22	▲16	0	17	39
受注残	▲17	▲11	▲6	▲11	▲6	5	11	0	6
収益	▲50	0	▲17	▲6	▲33	▲27	17	▲11	22
販売価格	22	22	11	22	17	▲5	▲5	33	16
原材料価格	50	33	33	56	50	▲6	0	44	▲6
原材料在庫	11	▲6	6	6	▲6	▲12	▲17	6	12
資金繰り	▲11	▲33	▲11	▲11	▲17	▲6	▲6	▲11	6
残業時間	▲6	▲11	▲17	0	▲6	▲6	0	11	17
人手	▲17	▲39	▲28	▲61	▲22	39	▲5	▲22	0
現在設備	▲11	▲6	▲6	▲11	▲17	▲6	▲6	▲17	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1～3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	2件
事務機器	0件
車両	0件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4～6月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	2件
事務機器	0件
車両	3件
その他	0件

今期(8年1～3月)は3社(16.7%)が設備投資を実施しており、前年同期を2社下回りました。
来期(8年4～6月)に設備投資を計画している企業は5社(27.8%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高・材料価格の上昇	10社
2位	人件費の増加	9社
3位	売上の停滞・減少	6社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	10社
2位	販路を広げる	7社
2位	人材を確保する	7社

卸売業

(令和8年1～3月期)

調査企業 7社
回答企業 7社
回答率 100%

業況は悪化、4～6月期は改善を予想

今期の実績 (令和8年1～3月期)

業況判断DIは▲71となり前期比54ポイント悪化、前年同期比では28ポイント悪化となりました。
売上額判断DIは▲71となり前期比104ポイント悪化、収益判断DIが▲72となり前期比105ポイント悪化しました。
また、販売価格判断DIは43となり前期比24ポイント低下、仕入価格判断DIが29となり前期比38ポイント低下しました。

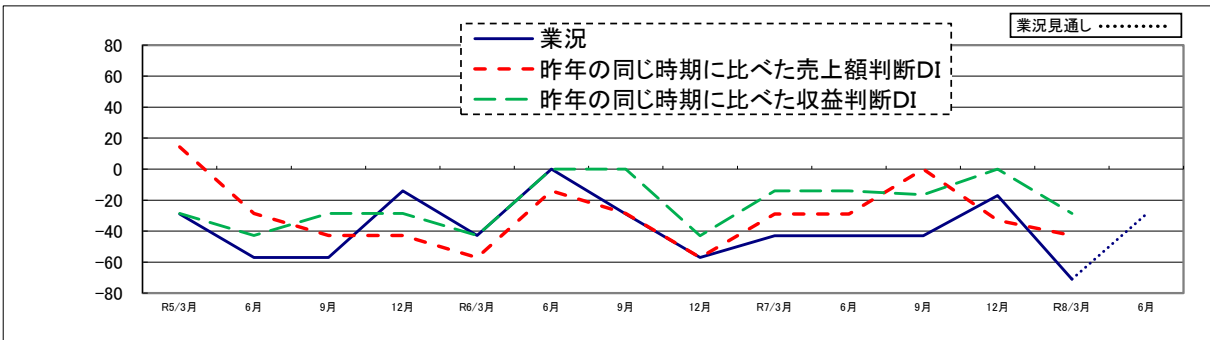
来期の見通し(令和8年4～6月期)

業況判断見通しDIは▲29となり今期実績比42ポイント改善する見通しです。
売上額判断見通しDIは14となり今期実績比85ポイント改善、収益判断見通しDIが▲14となり今期実績比58ポイント改善となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは29となり今期実績比14ポイント低下、仕入価格判断見通しDIも14となり今期実績比15ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月	R7/10～12月	R8/1～3月		R8/4～6月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲43	▲43	▲43	▲17	▲71	▲54	▲28	▲29	42
売上額	▲57	33	14	33	▲71	▲104	▲14	14	85
収益	▲57	17	43	33	▲72	▲105	▲15	▲14	58
販売価格	0	17	72	67	43	▲24	43	29	▲14
仕入価格	29	50	43	67	29	▲38	0	14	▲15
在庫	0	▲17	▲14	17	▲14	▲31	▲14	0	14
資金繰り	▲14	0	▲29	▲33	0	33	14	0	0
残業時間	0	▲17	33	0	33	33	33	0	▲33
人手	▲29	▲50	▲33	▲40	▲29	11	0	▲29	0
現在設備	▲29	▲29	▲14	▲33	▲29	4	0	▲14	15

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1～3月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	1件
事務機器	1件
車両	1件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4～6月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	1件
事務機器	1件
車両	0件
その他	1件

今期(8年1～3月)は2社(28.6%)が設備投資を実施しており、前年同期を1社上回りました。
来期(8年4～6月)に設備投資を計画している企業は3社(42.9%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	3社
2位	人手不足、人件費増加、取引先減少	
	為替レート変動、仕入先の値上り要請	各2社

当面の重点経営施策

1位	販路を広げる	5社
2位	情報力を強化する	3社
3位	経費節減、品揃え充実、流通経路見直し	各2社

小売業

(令和8年1～3月期)

調査企業 26社
回答企業 26社
回答率 100%

業況は悪化、4～6月期は改善を予想

今期の実績 (令和8年1～3月期)

業況判断DIは▲50となり前期比11ポイント悪化、前年同期比では6ポイント改善となりました。
売上額判断DIは▲35となり前期比31ポイント悪化、収益判断DIが▲35となり前期比31ポイント悪化しました。
また、販売価格判断DIは12となり前期比11ポイント低下、仕入価格判断DIが46となり前期比4ポイント低下しました。

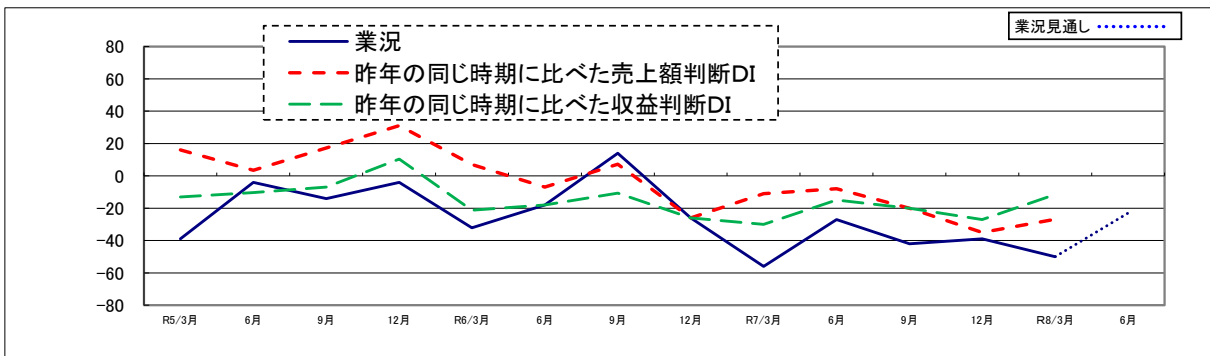
来期の見通し(令和8年4～6月期)

業況判断の見通しDIは▲23となり今期実績比27ポイント改善の見通しです。
売上額判断見通しDIは4となり今期実績比39ポイント改善、収益判断見通しDIが▲4となり今期実績比31ポイント改善となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは35となり今期実績比23ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIが62となり今期実績比16ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月	R7/10～12月	R8/1～3月			R8/4～6月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲56	▲27	▲42	▲39	▲50	▲11	6	▲23	27
売上額	▲30	▲8	▲12	▲4	▲35	▲31	▲5	4	39
収益	▲37	▲12	▲16	▲4	▲35	▲31	2	▲4	31
販売価格	48	50	32	23	12	▲11	▲36	35	23
仕入価格	67	54	64	50	46	▲4	▲21	62	16
在庫	11	0	0	▲8	0	8	▲11	▲8	▲8
資金繰り	▲7	▲12	▲4	▲4	▲8	▲4	▲1	▲8	0
残業時間	▲4	▲4	▲8	▲15	▲4	11	0	4	8
人手	▲33	▲35	▲40	▲23	▲31	▲8	2	▲35	▲4
現在設備	▲7	▲8	▲4	▲12	▲12	0	▲5	▲8	4

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1～3月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	3件
車両	1件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4～6月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	2件
車両	2件
その他	3件

今期(8年1～3月)は、3社(11.5%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いでした。
来期(8年4～6月)に設備投資を計画している企業は6社(23.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	商圏人口の減少	12社
2位	売上の停滞・減少	11社
3位	人手不足	8社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	16社
2位	人材を確保する	10社
3位	品揃えを充実(改善)する	8社

サービス業

(令和8年1~3月期)

調査企業 16社
回答企業 16社
回答率 100%

業況は悪化、4~6月期は横這いを予想

今期の実績 (令和8年1~3月期)

業況判断DIは▲19となり前期比19ポイント悪化、前年同期比1ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲25となり前期比19ポイント悪化、収益判断DIが▲19となり前期比6ポイント改善しました。
また、料金価格判断DIは19となり前期比6ポイント低下、材料価格判断DIが19となり前期比44ポイント低下しました。

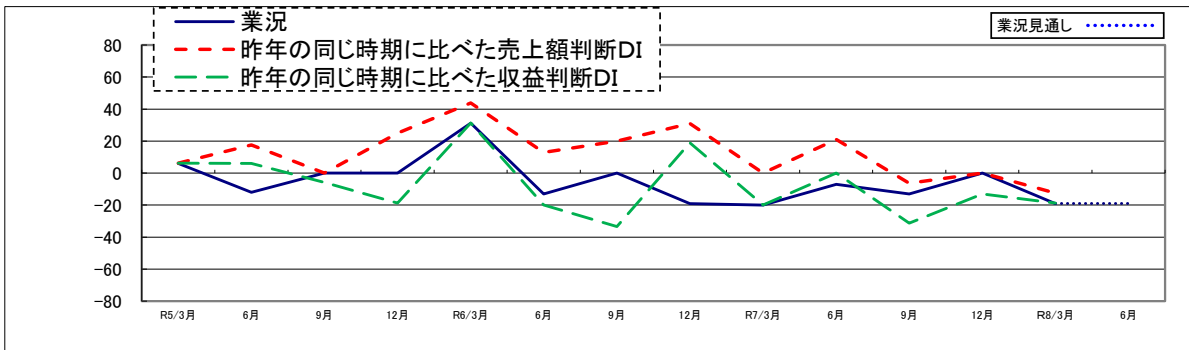
来期の見通し(令和8年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲19となり今期実績比横這いの見通しです。
売上額判断見通しDIは6となり今期実績比31ポイント改善、収益判断見通しDIが▲6となり今期実績比13ポイント改善となる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは44となり今期実績比25ポイント上昇、材料価格判断見通しDIは56となり今期実績比37ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/1~3月	R7/4~6月	R7/7~9月	R7/10~12月	R8/1~3月		R8/4~6月		
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲20	▲7	▲13	0	▲19	▲19	1	▲19	0
売上額	▲37	▲14	25	▲6	▲25	▲19	12	6	31
収益	▲38	▲21	0	▲25	▲19	6	19	▲6	13
料金価格	25	50	31	25	19	▲6	▲6	44	25
材料価格	69	71	56	63	19	▲44	▲50	56	37
資金繰り	▲19	▲21	▲25	▲25	▲19	6	0	▲13	6
残業時間	0	0	0	0	6	6	6	▲25	▲31
人手	▲50	▲50	▲73	▲63	▲44	19	6	▲56	▲12
現在設備	▲6	▲43	▲38	▲25	▲20	5	▲14	▲27	▲7

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1~3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	3件
機械・設備の更改	2件
事務機器	2件
車両	2件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4~6月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	2件
事務機器	0件
車両	1件
その他	1件

今期(8年1~3月)は、5社(31.3%)が設備投資を実施しており、前年同期横這いでした。
来期(8年4~6月)に設備投資を計画している企業は4社(25.0%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	10社
2位	売上停滞、人件費増加	
	商圏人口減少、生産能力不足	各5社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	11社
2位	経費を節減する	7社
3位	販路を広げる、技術力	各5社

建設業

(令和8年1～3月期)

調査企業 38社
回答企業 37社
回答率 97.4%

業況は悪化、4～6月期は低下を予想

今期の実績 (令和8年1～3月期)

業況判断DIは▲8となり前期比22ポイント悪化、前年同期比では8ポイント悪化しました。
売上額判断DIは▲35となり前期比59ポイント悪化、収益判断DIが▲25となり前期比47ポイント悪化しました。
また、請負価格判断DIは3となり前期比5ポイント低下、材料価格判断DIが36となり前期比2ポイント低下しました。

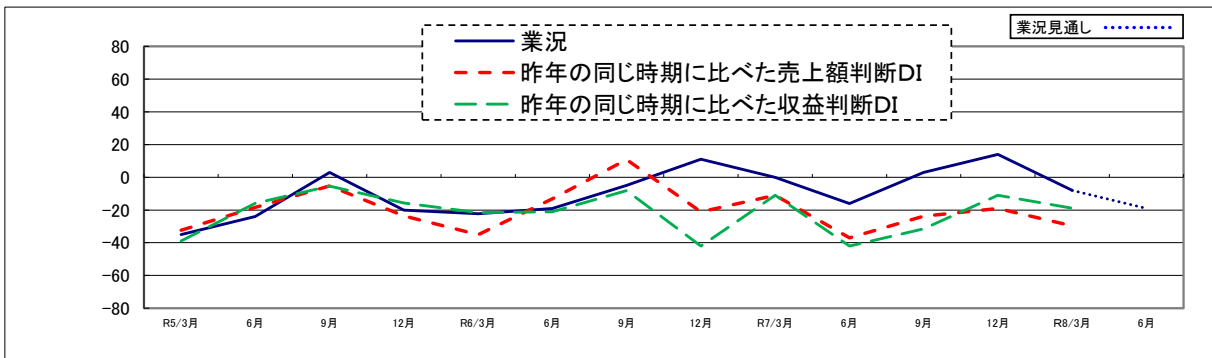
来期の見通し(令和8年4～6月期)

業況判断の見通しDIは▲19となり今期実績比11ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲14となり今期実績比21ポイント改善、収益判断見通しDIが▲5となり今期実績比20ポイント改善となる予定です。
また、請負価格判断見通しDIは14となり今期実績比11ポイント上昇、材料価格判断見通しDIが39となり今期実績比3ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月	R7/10～12月	R8/1～3月			R8/4～6月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	0	▲16	3	14	▲8	▲22	▲8	▲19	▲11
売上額	▲14	▲5	29	24	▲35	▲59	▲21	▲14	21
受注残	▲33	11	▲5	▲20	▲39	▲19	▲6	3	42
施工高	▲26	10	26	16	▲28	▲44	▲2	11	39
収益	▲8	▲19	13	22	▲25	▲47	▲17	▲5	20
請負価格	11	5	11	8	3	▲5	▲8	14	11
材料価格	66	39	55	38	36	▲2	▲30	39	3
在庫	3	0	0	6	9	3	6	6	▲3
資金繰り	3	11	8	0	8	8	5	▲8	▲16
残業時間	▲37	▲17	▲14	▲8	▲24	▲16	13	▲3	21
人手	▲45	▲49	▲58	▲56	▲25	31	20	▲54	▲29
現在設備	▲8	0	▲11	▲5	0	5	8	▲9	▲9

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1～3月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	4件
事務機器	2件
車両	5件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4～6月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	3件
事務機器	3件
車両	4件
その他	0件

今期(8年1～3月)は、10社(27.0%)が設備投資を実施しており、前年同期を3社上回りました。
来期(8年4～6月)に設備投資を計画している企業は9社(24.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	25社
2位	原材料高・材料価格の上昇	15社
3位	売上の停滞・減少	12社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	27社
2位	技術力を高める	22社
3位	経費を節減する	18社

運輸業

(令和8年1～3月期)

調査企業 9社
回答企業 9社
回答率 100%

業況は悪化、4～6月期は低下を予想

今期の実績 (令和8年1～3月期)

業況判断DIは▲33となり前期比44ポイント悪化、前年同期比では11ポイント改善しました。
売上額判断DIは▲44となり前期比88ポイント悪化、収益判断DIが▲44となり前期比66ポイント悪化しました。
また、料金価格判断DIは0となり前期比横這い、材料価格判断DIが▲22となり前期比33ポイント低下しました。

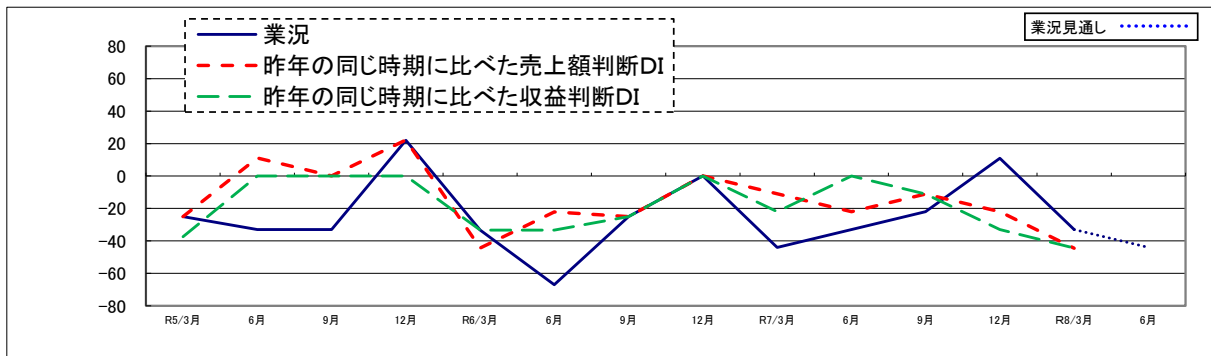
来期の見通し(令和8年4～6月期)

業況判断の見通しDIは▲44となり今期実績比11ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲13となり今期実績比31ポイント改善、収益判断見通しDIは▲13となり今期実績比31ポイント改善となる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは0となり今期実績比横這い、材料価格判断見通しDIが0となり今期実績比22ポイント上昇の見込みです。

DI値

	R7/1～3月	R7/4～6月	R7/7～9月	R7/10～12月	R8/1～3月			R8/4～6月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	▲44	▲33	▲22	11	▲33	▲44	11	▲44	▲11
売上額	▲33	▲44	22	44	▲44	▲88	▲11	▲13	31
収益	▲33	▲44	11	22	▲44	▲66	▲11	▲13	31
料金価格	11	0	0	0	0	0	▲11	0	0
材料価格	67	56	0	11	▲22	▲33	▲89	0	22
資金繰り	0	▲11	0	▲33	0	33	0	▲38	▲38
残業時間	11	▲22	11	44	0	▲44	▲11	▲11	▲11
人手	▲33	▲33	▲44	▲67	▲44	23	▲11	▲67	▲23
現在設備	▲22	▲22	▲11	▲33	▲22	11	0	▲11	11

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年1～3月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	0件
事務機器	1件
車両	1件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年4～6月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	0件
事務機器	0件
車両	1件
その他	0件

今期(8年1～3月)は、2社(22.2%)が設備投資を実施しており、前年同期を1社下回りました。
来期(8年4～6月)に設備投資を計画している企業は1社(11.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	6社
2位	売上の停滞・減少	3社
3位	利幅縮小、人件費増加、天候不順、原料価格上昇	各2社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	6社
2位	経費を節減する	5社
3位	販路を広げる	2社

不動産業

(令和8年1~3月期)

調査企業 3社
回答企業 3社
回答率 100%

業況は悪化、4~6月期は横這いを予想

今期の実績 (令和8年1~3月期)

業況判断DIは▲33となり前期比100ポイント悪化、前年同期比は33ポイント悪化となりました。
売上額判断DIは33となり前期比33ポイント改善、収益判断DIが33となり前期比横這いとなりました。
また、販売価格判断DIは33となり前期比横這い、仕入価格判断DIが67となり前期比横這いとなりました。

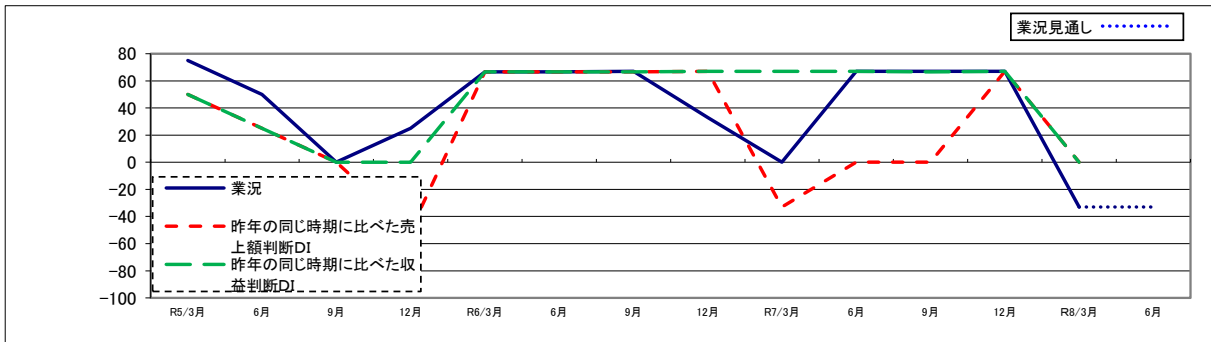
来期の見通し(令和8年4~6月期)

業況判断の見通しDIは▲33となり今期実績比横這いとなる見通しです。
売上額判断見通しDIは67となり今期実績比34ポイント改善、収益判断見通しDIが0となり今期実績比33ポイント悪化となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは33となり今期実績比横這い、仕入価格判断見通しDIが67となり今期実績比横這いとなる見込みです。

DI値

	R7/1~3月	R7/4~6月	R7/7~9月	R7/10~12月	R8/1~3月			R8/4~6月	
	前年同期			前期実績	今期実績	前期比	前年同期比	来期見通し	今期比
業況	0	67	67	67	▲33	▲100	▲33	▲33	0
売上額	▲33	▲67	0	0	33	33	66	67	34
収益	33	0	67	33	33	0	0	0	▲33
販売価格	0	33	33	33	33	0	33	33	0
仕入価格	33	67	67	67	67	0	34	67	0
在庫	67	0	33	0	▲33	▲33	▲100	▲33	0
資金繰り	33	0	0	0	0	0	▲33	▲33	▲33
残業時間	▲33	▲33	0	0	0	0	33	0	0
人手	▲33	▲33	▲33	0	▲67	▲67	▲34	▲67	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



経営上の問題点と当面の重点経営施策 (上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	人手不足	2社
1位	利幅の縮小	2社
1位	商品物件の高騰	2社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	3社
----	---------	----

特別調査

中小企業経営者のライフデザイン

調査概要

この調査は、中空知管内企業に対して「中小企業経営者のライフデザイン」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。

■調査時点	令和8年3月
■調査地域	中空知管内(当金庫本支店所在地)
■調査方法	当金庫職員による面接聞き取り法
■調査企業	当金庫のお取引先企業

内訳	製造業	18社	建設業	37社
	卸売業	7社	運輸業	9社
	小売業	26社	不動産業	3社
	サービス業	16社	計	116社

※ただし各設問において未回答の企業があります。
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。

調査結果から

■10年先の自社の展望「現状維持・横ばい」が55.2%

今後の10年先の自社の経営について、「現状維持・横ばい」が55.2%と最も多く、次いで「事業拡大」が18.1%、「事業縮小」が7.8%、「廃業・事業譲渡予定」が6.0%の結果となりました。

現在の社長(代表者)の年齢階層について、「50歳代」が31.0%と最も多く、「60歳代」が30.2%、「70歳代」が19.0%と、50歳以上が80.2%となりました。

■経営者として「後継者に託せるようになるまでは現役」が25.0%

具体的な年齢の目途がある方は、「70～74歳」が17.2%と最も多く、次いで「65～69歳」が10.3%、「75～79歳」が8.6%となりました。具体的な年齢の目途がない方は、「後継者に託せるようになるまでは現役」が25.0%、「健康が続く限り生涯現役」が13.8%、「まったく考えていない」が11.2%の結果となりました。

■引退した後の生活資金について「まだ考えてない」が21.6%

引退した後の生活資金について、「まだ考えてない」が21.6%と最も多く、次いで「貯蓄・資産が十分ではない」が15.5%、「何とかなる」が12.1%の結果となりました。

引退後の生活資金が十分だと思う方が41.4%、まだ不十分だと思う方が27.6%、まだ考えていない方が21.6%となっております。

■資産管理・運用方法は「預貯金(円貨)」が29.7%

社長(代表者)の資産管理・運用方法について、「預貯金(円貨)」が29.7%、「投資信託」16.2%、「何もしていない」13.5%の結果となりました。資産管理・運用をされている社長(代表者)が、79.9%になることがわかりました。

■賃金の引上げ率は「2%以上4%未満」が47.8%

賃金の引上げについて、実施する企業が58.6%、実施しない企業は34.5%でした。

賃金を引上げする場合の引上げ率は、「2%以上4%未満」が47.8%と最多で、「0%以上2%未満」33.3%、「4%以上6%未満」18.8%、「6%以上」0.0%の結果となりました。

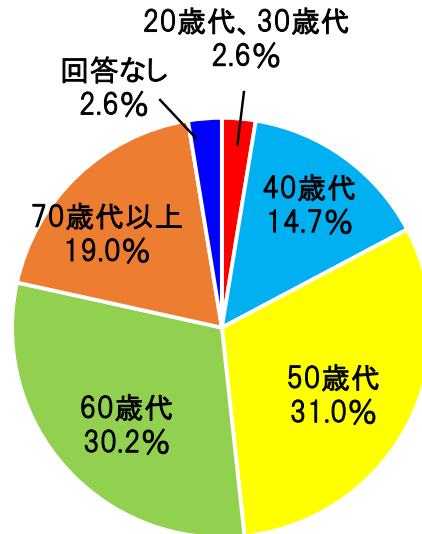
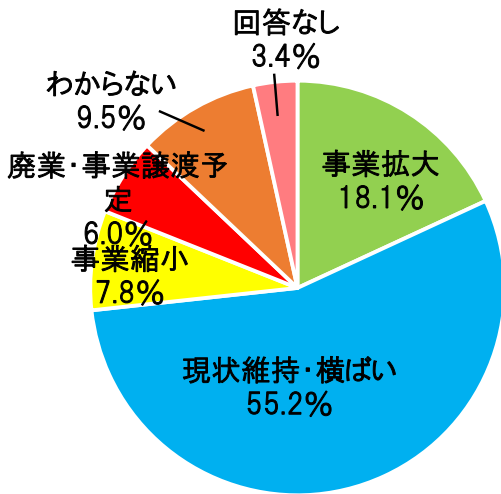
賃金を引上げない理由として、「今後の業績見通しが不透明」27.5%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」22.5%、「売上の低迷や伸び悩み」および「自社に従業員はいない(家族経営など)」17.5%の順となりました。

問1. 社長(代表者)は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか？併せて、現在の社長(代表者)の年齢階層をお答えください。

**10年先の自社の展望は「現状維持・横ばい」が55.2%
現在の社長(代表者)の年齢階層が「50歳代」31.0%**

10年先の自社の展望

社長(代表者)の年齢階層



10年先の自社の展望と社長(代表者)の年齢階層

単位:社

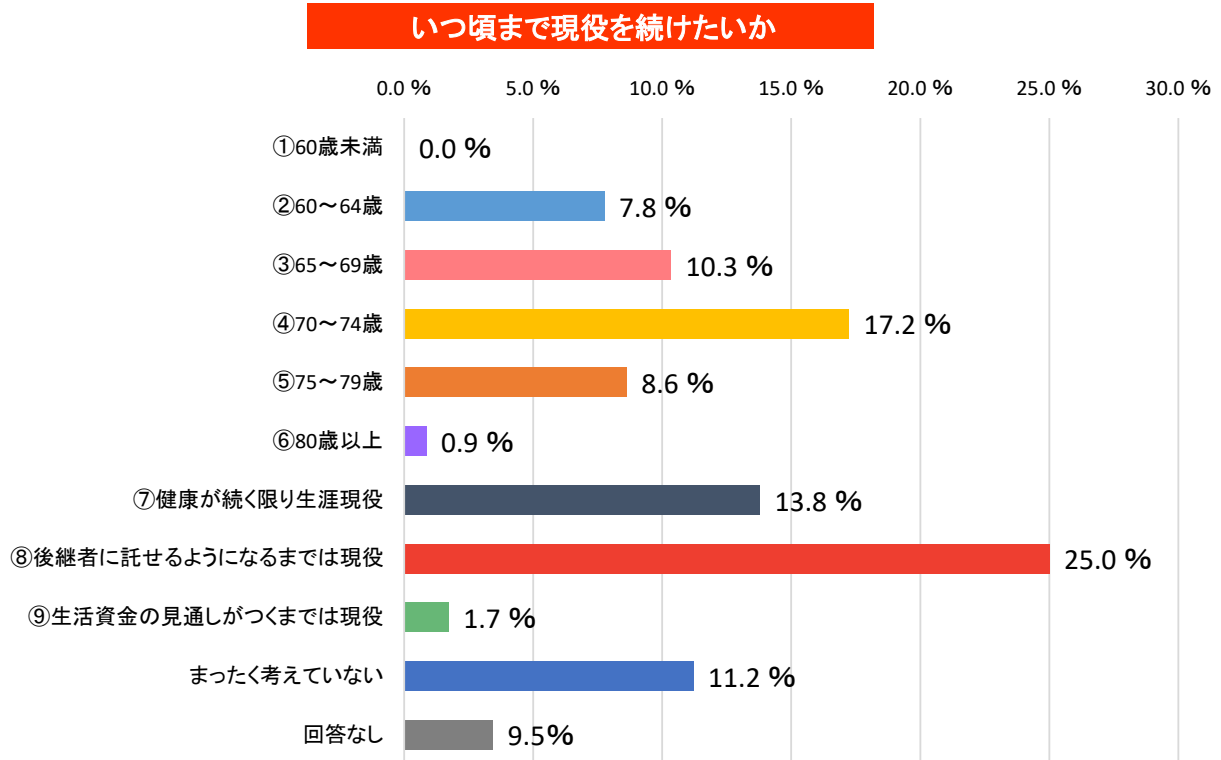
項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
10年先の自社経営展望	116	18	7	26	16	37	9	3
事業拡大	21	4	2	2	3	8	0	2
現状維持・横ばい	64	9	4	15	8	22	6	0
事業縮小	9	1	0	3	1	4	0	0
廃業・事業譲渡予定	7	1	0	4	1	0	1	0
わからない	11	2	1	1	2	2	2	1
回答なし	4	1	0	1	1	1	0	0
社長(代表者)の年齢階層	116	18	7	26	16	37	9	3
20歳代、30歳代	3	1	0	0	0	1	0	1
40歳代	17	2	0	5	3	5	2	0
50歳代	36	7	2	8	7	8	2	2
60歳代	35	6	4	3	4	14	4	0
70歳代以上	22	1	1	9	1	9	1	0
回答なし	3	1	0	1	1	0	0	0

今後の10年先の自社の経営について、「現状維持・横ばい」が55.2%と最も多く、次いで「事業拡大」が18.1%、「事業縮小」が7.8%、「廃業・事業譲渡予定」が6.0%の結果となりました。

現在の社長(代表者)の年齢階層について、「50歳代」が31.0%と最も多く、「60歳代」が30.2%、「70歳代」が19.0%と、50歳以上が80.2%となりました。

問2. 社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか？

「後継者に託せるようになるまでは現役」が25.0%



いつ頃まで現役を続けたいか

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
①60歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
②60～64歳	9	3	0	2	1	1	1	1
③65～69歳	12	1	2	5	0	4	0	0
④70～74歳	20	5	1	3	1	9	1	0
⑤75～79歳	10	0	1	5	2	2	0	0
⑥80歳以上	1	0	0	1	0	0	0	0
⑦健康が続く限り生涯現役	16	3	2	3	4	1	1	2
⑧後継者に託せるようになるまでは現役	29	4	1	3	5	13	3	0
⑨生活資金の見通しがつくまでは現役	2	0	0	0	1	1	0	0
まったく考えていない	13	1	0	3	1	5	3	0
回答なし	4	1	0	1	1	1	0	0
合計	116	18	7	26	16	37	9	3

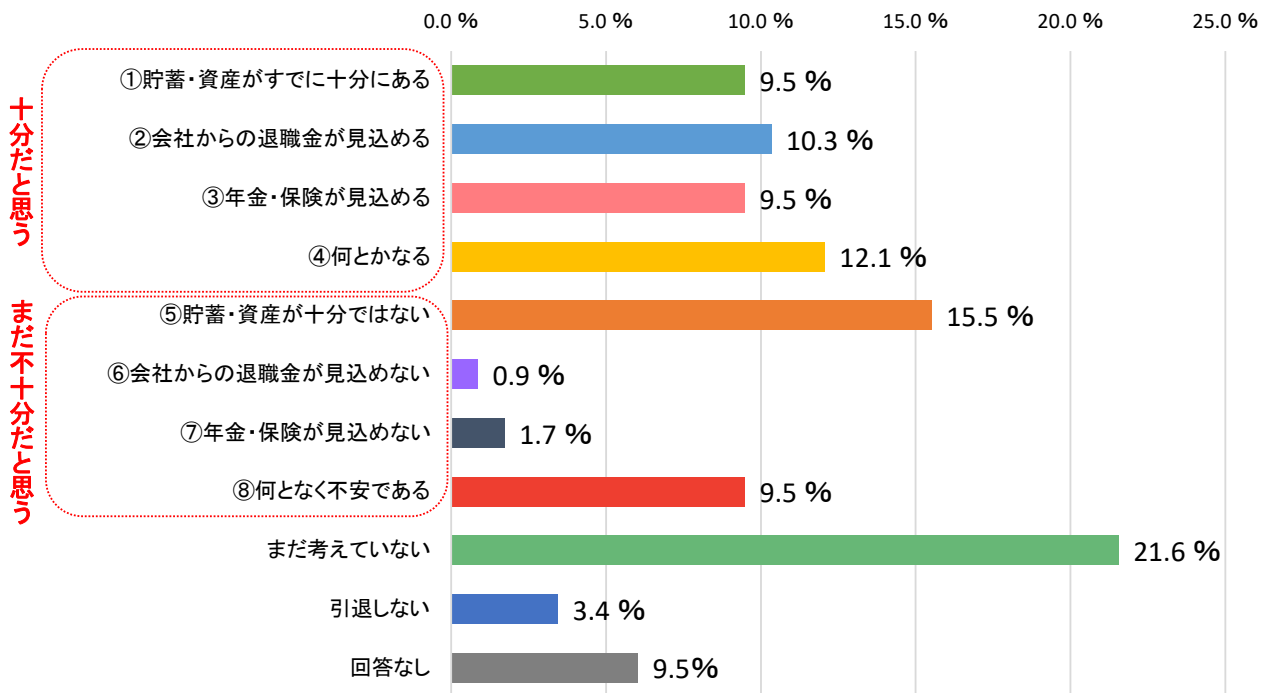
具体的な年齢の目途がある方は、「70～74歳」が17.2%と最も多く、次いで「65～69歳」が10.3%、「75～79歳」が8.6%となりました。具体的な年齢の目途がない方は、「後継者に託せるようになるまでは現役」が25.0%、「健康が続く限り生涯現役」が13.8%、「まったく考えていない」が11.2%の結果となりました。

具体的な年齢の目途がある方(①～⑥の合計)が44.8%、具体的な目途がない方(⑦～⑨の合計)は40.5%となっております。

問3. 社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか？

「まだ考えていない」が21.6%

引退した後の生活資金について



引退した後の生活資金について

単位:社

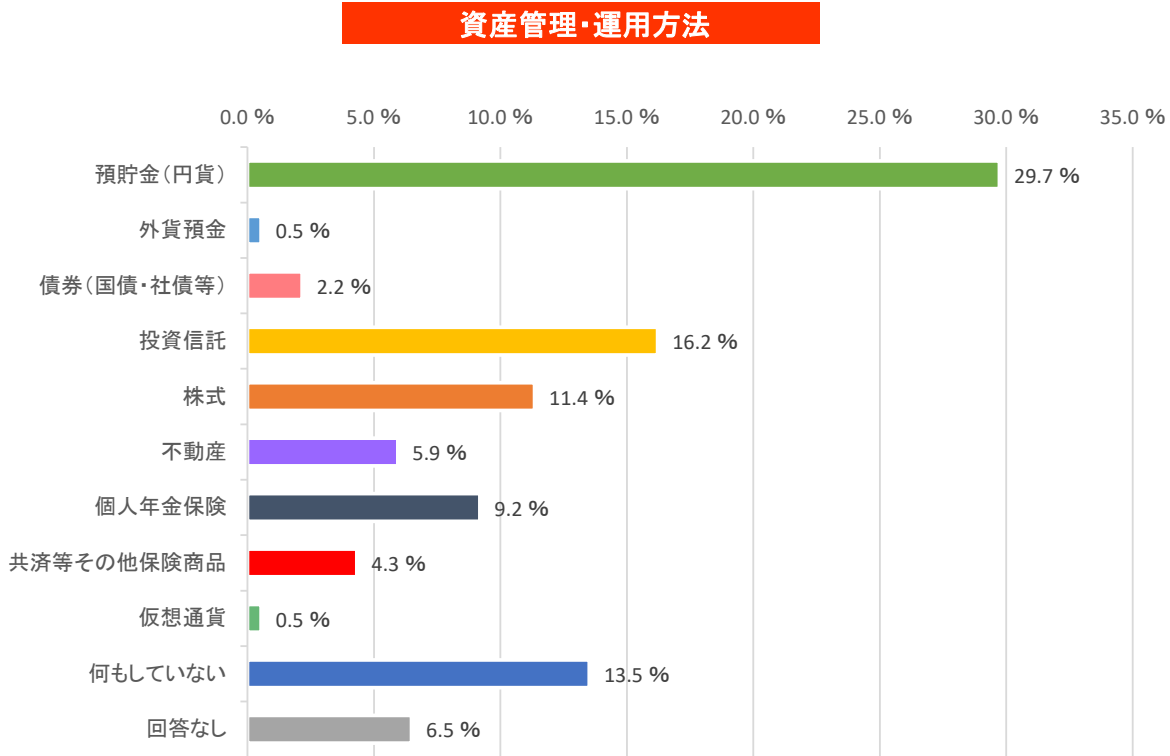
項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
①貯蓄・資産がすでに十分にある	11	0	1	5	0	5	0	0
②会社からの退職金が見込める	12	2	2	1	0	5	1	1
③年金・保険が見込める	11	1	0	3	4	2	1	0
④何とかなる	14	2	1	3	1	4	2	1
⑤貯蓄・資産が十分ではない	18	2	0	7	4	4	1	0
⑥会社からの退職金が見込めない	1	0	1	0	0	0	0	0
⑦年金・保険が見込めない	2	0	0	0	1	1	0	0
⑧何となく不安である	11	3	0	2	1	3	1	1
まだ考えていない	25	6	1	3	4	10	1	0
引退しない	4	1	0	1	0	1	1	0
回答なし	7	1	1	1	1	2	1	0
合計	116	18	7	26	16	37	9	3

引退した後の生活資金について、「まだ考えていない」が21.6%と最も多く、次いで「貯蓄・資産が十分ではない」が15.5%、「何とかなる」が12.1%の結果となりました。

引退後の生活資金が十分だと思う方が41.4%、まだ不十分だと思う方が27.6%、まだ考えていない方が21.6%となっております。

問4. 社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をしていらっしゃいますか？

資産管理・運用方法は「預貯金(円貨)」が29.7%



資産管理・運用方法について

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
預貯金(円貨)	55	5	2	17	7	19	4	1
外貨預金	1	0	0	1	0	0	0	0
債券(国債・社債等)	4	1	1	1	0	1	0	0
投資信託	30	6	3	7	4	6	3	1
株式	21	5	3	4	1	5	2	1
不動産	11	1	1	2	1	3	0	3
個人年金保険	17	4	0	5	3	4	1	0
共済等その他保険商品	8	1	1	2	0	3	0	1
仮想通貨	1	0	0	0	0	1	0	0
何もしていない	25	5	2	4	4	10	0	0
回答なし	12	3	1	1	1	4	2	0
合計	185	31	14	44	21	56	12	7

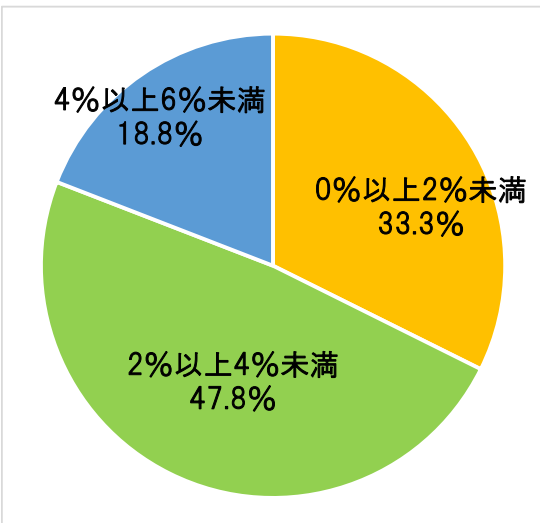
(3つまで複数回答可)

社長(代表者)の資産管理・運用方法について、「預貯金(円貨)」が29.7%、「投資信託」16.2%、「何もしていない」13.5%の結果となりました。資産管理・運用をされている社長(代表者)が、79.9%になることがわかりました。

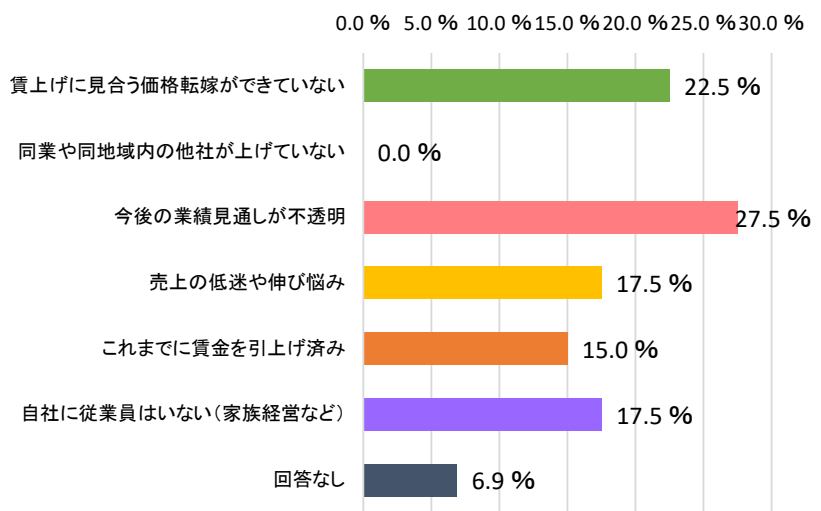
問5. 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の引上げを実施(実施予定を含む)しますか？
 引上げる場合はその賃金の引上げ率を、引上げない場合はその理由をお答えください。

**賃金の引上げ率は「2%以上4%未満」が47.8%
 賃金を引上げない理由は「今後の業績見通しが不透明」が27.5%**

賃金の引上げ率



賃金を引上げない理由



賃金の引上げについて

単位:社

項目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
0%以上2%未満	22	2	3	3	2	10	2	0
2%以上4%未満	33	6	1	8	2	14	0	2
4%以上6%未満	13	2	0	2	3	3	3	0
6%以上	0	0	0	0	0	0	0	0
賃上げに見合う価格転嫁ができていない	9	2	0	2	1	4	0	0
同業や同地域内の他社が上げていない	0	0	0	0	0	0	0	0
今後の業績見通しが不透明	11	2	0	3	2	4	0	0
売上の低迷や伸び悩み	7	1	1	2	1	0	1	1
これまでに賃金を引上げ済み	6	2	1	1	1	0	1	0
自社に従業員はいない(家族経営など)	7	0	0	4	2	1	0	0
回答なし	8	1	1	1	2	1	2	0
合計	116	18	7	26	16	37	9	3

賃金の引上げについて、実施する企業が58.6%、実施しない企業は34.5%でした。

賃金を引上げる場合の引上げ率は、「2%以上4%未満」が47.8%と最多で、「0%以上2%未満」33.3%、「4%以上6%未満」18.8%、「6%以上」0.0%の結果となりました。

賃金を引上げない理由として、「今後の業績見通しが不透明」27.5%、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」22.5%、「売上の低迷や伸び悩み」および「自社に従業員はいない(家族経営など)」17.5%の順となりました。

北門信用金庫 総務部(広報)

北海道滝川市栄町3丁目3番4号

TEL (0125)22-1185 (直通)

<https://www.shinkin.co.jp/hokumon/>